

市町村指定文化財取材票 <表>

取材日	2023年	5月	20日	(記入者) 鶴田吉範	
取材参加者	垣内	久門	小西	島田	鶴田
	本井				
取材対象先	天理市：櫛本町瓦釜の木造阿弥陀如来坐像				

所在地	天理市櫛本町1496、櫛本町瓦釜集会所・薬師堂				
所有者(取材 対応者)名	櫛本町瓦釜自治会 区長 **	連絡先 *** (FAX同番号)			
	*さん (個人情報守秘)	PCアドレス 無し			
取材申込	申込先・行政名など：櫛本町瓦釜自治会				
市町村 指定文 化財	彫刻	1躯	木造阿弥陀如来坐像 2001(平成13)年3月26日指定		
	建造物	棟			
文化財指定理由	定印を結ぶ阿弥陀仏で小ぶりの頭部に比べて体躯が厚く、両脚も大きく作られている。両脚部などにあるくせのある衣紋など鎌倉時代後半の特色を示している。				

文化財の状況

	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
防火対策	消火器は、集会所から繋がる薬師堂への横入口に一つ設置されている。集会所が災害一時避難所になるため備品等の自主防災倉庫が作られている。	仏像が設置されている薬師堂は昭和61年9月に集会所と共に建て替えられている。建物管理は自治会により良くされている。
獣害対策	被害の有無、対策など	記入者の感想
	ネズミ、タヌキなどの被害はないが、お賽銭を入れる際のお堂正面入口に付けられている小窓の締め忘れにより、ハトがお堂に入る	特になし。
保存～継承 へ 苦労と 今後の課題 と対策	説明を受けた自治会の区長さんの話では地域の人々の文化財に対する興味も少なくなってきた。仏像を見せるということもあまりなく、月一回長寿会を開催しているが薬師堂を開くことはしていないとの事。 <p align="center">今後は、コロナで中止していた和爾下神社への太鼓奉納の秋祭りを開催して、地域を元気にしたいと話されていた。</p>	

取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題(修復、維持、管理、環境など)

<p>仏像が設置されている薬師堂は現在は高良(こうら)神社の境内にあるが、当地は、奈良時代に建立され、今では廃寺となった長寺(おさでら)があった場所。</p> <p align="center">仏像の現状の保護状況に問題はない。薬師堂には当該仏像のほか薬師如来を含め数体仏像が安置されている。高良神社の祭りなどの際に、地域の人々に文化財に興味を持ってもらうためにも、仏像拝観できるようにする事も良いのではないかと。</p>
--

市町村指定文化財取材票〈裏〉

取材日	2023年	5月	20日	(記入者) 鶴田吉範	
取材参加者	垣内	久門	小西	島田	鶴田
	本井				
取材対象先	天理市：櫛本町瓦釜の木造阿弥陀如来坐像				

〈写真撮影許可済み〉

文化財指定名 木造阿弥陀如来坐像

文化財 (正面写真)	文化財 (角度を変えて、写真)
	
文化財が保存されている薬師堂	薬師堂 (左側) と集会所 (右側)

	
文化財の由緒などを記入	所有社寺や地域 (廃寺等) の歴史や特徴を記入

説明を受けた自治会の区長さんによれば、仏像の由緒ははっきり分らないが、現在の建物の場所に小さな庵があり、庵主さんがおられて、そこに仏像が祀られていたのではとの話だった。当該仏像が長寺由来の仏像かは分らないとの事。

平安時代中期1070(延久2)年の文書の記録から、当地は奈良時代前期に建立された古代寺院、長寺の跡地とされている。しかし、長寺について詳細は分かっていない。現在の高良神社境内地は周辺地より一段高く地形が保存されており、かつての寺院の中心地と推定されている。近くにある元櫛本町役場で現在は公民館となっている所と神社境内入口の2カ所に、天理市教育委員会により長寺遺跡の説明板が設置されている。